

入れようとしているが逆ではないか？」との質問に対しては、「その数値は原田さんがこの数年間に支払った医療費の総額で、それに基づいて還付金額を計算するための数値です」と答えました。しかし、このまま続けると私の口座から数十万円がゆうちょ銀行の個人名の口座に送金されることは明白でしたので、そこでハタとこれは「振り込め詐欺」ではないかと気づき、「怪しいので作業を止めます」と告げ、「取り消しボタン」を押し、事なきを得ました。

終始、親切な口調で喋るので指示される通り疑いなく「送金ボタン」を押して仕舞う人がいる事は想像に難くありません。公共機関と大手銀行の名前を使った、実にうまい手口です。

今回のトラブルで得られた教訓と対策

1. 社会の動きをしっかりと掴もう：私も毎年行っている確定申告時の医療費控除以外、こうした政府の行政処置（医療費還付の話）はマスコミに取り上げられたことは無かったし、聞いたことも無かったが、欲に駆られて、「書類を失くしてしまったのか」と書類を探して仕舞った。
2. 上手い話があった時には情報の発信元を確かめよう：事後、被害者が出ないようにと町役場に今回あったことを通報した所、「町役場健康福祉課の松田」と名乗る人物は存在せず、「町役場健康福祉課の松田」を騙った手口は既にあったとのこと。町役場としては広報車を回して注意喚起に努めているとのこと。
3. 電話の発信元の信頼性を確認しよう：そもそも「町役場健康福祉課の松田」からの連絡なのだが発信元はこの市外局番 049 から始まる筈なのに、今回は 03 から始まる電話番号でだった（初めに電話を受けた家内はそのことに気が付かなかった）。
4. 「ATM で還付金を受け取ることは出来ません」と言う ATM 画面に表示されるメッセージを信用しよう。
5. 自宅の電話と携帯に ①町役場健康福祉課から掛けて来た番号、②銀行の再発行支援窓口から掛けて来た番号、③支援業務担当の携帯番号 からの受信はナンバーディスプレイ機能とナンバーリクエスト機能を使って全てロックし、受け付けないように設定（尤もこの番号はほとんど変えるので多分効果はありませんが）。

今回の場合、直接的還付金払い戻しではなく、「払戻すために発行された申請書の有効期限が切れたので申請書の再発行手続きを支援する」と言う誘いにまんまと乗って仕舞いました。役場・市役所と金融機関の組み合わせの他にも、警察と金融機関の組み合わせで騙そうとする手口もあるようです。今回は最終的には正気を取り戻し、大事には至りませんでした。が、「ATM の前で携帯電話を掛けながら ATM の操作をしている欲深い老人」になっていました。皆さん、気を付けましょう。私の経験が、皆さんに今後起こり得る被害を防ぐために少多少なりともお役に立てれば幸いです。

2024年9月26日記